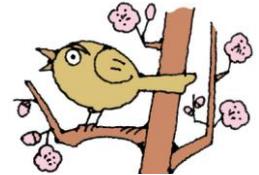


早春とはいえまだ朝晩寒い日も多いですが、体調はいかがでしょう？
今年もT・TAKメンバー一同、頑張って地域医療に取り組んで参りますので、
どうぞよろしくお願いいたします。

今回は『呼吸療法認定士』についてです。
リハビリテーション科・松田主任にお話を伺いました。



こんにちは。お忙しい中ありがとうございます。

つくし！



◆Q1 取ろうと思ったきっかけは？

もともと何か自分の裏付けとでもいうものを持ちたいなと思っており、
糖尿病療養指導士など候補は様々あったのですが、
せっかくならより興味があった呼吸の方でと思い、受験しました。

◆Q2 資格の紹介（対象患者）

「3学会合同呼吸療法認定士」の資格は、「日本胸部外科学会」「日本呼吸器学会」「日本麻酔科学会」
の3つの学会に認定された呼吸のスペシャリストとでもいうべき資格です。
この資格を取ることができるのは、臨床経験2年以上の臨床工学技士、看護師、准看護師、
理学療法士（PT）のみです。

当院では、土井看護師さんがすでにとっておられますが、理学療法士では当院初となります。
詳しくはバックナンバーで！

◆Q3 受験するのに苦労したことは？

受験資格を得るための2日間の講習と受験が東京でしかなく、
移動だけでとても疲れました。勉強に関しても解剖や呼吸リハビリ
以外の所は最初ほとんどわからず、とっても困りました。
さらに仕事が忙しいのに加え、家では子供（当時3歳）が絡んでくる。
と勉強の時間を確保するのに苦労しました。

春が来た！



◆Q4 資格を取れた時の感想は？

「マジで？」(笑) って感じですね。
本当にややこしい問題が多く、「こりゃダメかな？」って思っていたので合格通知が来たときは、うれしいよりも驚きや安堵の方が先に立ちました。
(ちなみに、その年の合格率は62.4%でした。)

明りをつけましょ ぼんぼりに♪



◆ Q5 これからの抱負

とりあえず資格は取ったものの、まだまだ知識不足は否めない状態であり、まずは知識を深めることからかなと思っています。
当院の臨床工学技士さんやP Tで同じ資格を取ろうと頑張っている人もいるので、最終的にはその人たちや、すでに資格を持っておられる土井看護師さんを巻き込んで呼吸チームを作り、当院の診療技術向上に役立てたらいいなと思っています。

◆Q6最後に一言

この資格を取って終わりではなく、これからどのようにしていくかが大事であるので、これに慢心することなく、呼吸以外の事も含めて頑張っていきたいと思いますので、よろしくお願いいたします。

お忙しいところお話いただき、本当にありがとうございました。

今後も、I H I 播磨病院の各部門・先生・スタッフの紹介をします。
次回より、T・TAK新聞はI H I 播磨病院の機関紙『どリーむ』より配信されます。
今まで通り、ご愛顧のほどよろしくお願いいたします。

バックナンバーは 病院ホームページ <http://www.harima-hp.jp>
からご覧いただけます。

by : S. O & N. H